



敬愛



〒183-0027 府中市本町 4-16

☎ 042-361-9303

ホームページ <http://www.fuchu03c.fuchu-tokyo.ed.jp/>



前を向いて歩もう。

校長 持田 晃

2月2日(火)に緊急事態宣言の延長が決まり、正直少し暗い気持ちになりました。令和3年が明けて、早々に緊急事態宣言が始まり、生徒の皆さんへも、「これまで以上に気を付けていきましょう」と始業式で話しました。考えてみると、この新型コロナとの戦いも、もう間もなく1年が経とうとしています。

そんな状況の中でも、3年生は自分自身の未来に向けて歩んでいます。都立高校の推薦入試があり、合格発表が先日ありました。そして、私立高校の一般入試と続き、その後は最も志望者の多い都立高校の全日制一次・分割前期募集の入試となります。面接練習では、しっかりと自分の考えを自分自身の言葉で、志望理由や将来の希望について、「夢」を語ってもらいました。そういった意味でも、“前を向いていかなければな”と感じさせられました。

2月1日(月)の全校朝礼では、「できるかどうかはわからないけど、合唱祭の準備を進めていきますか?」と話しました。なぜならば、各学級のクラス曲、指揮者、伴奏者は昨年には決定しており、実行委員、指揮者、伴奏者はその時から、すでに準備をしているのです。今は、合唱どころか歌うことさえままならない状況ですが、準備だけはしていきませんか?と話しました。もちろん、「当日はどうかはわからない」ということを踏まえてです。

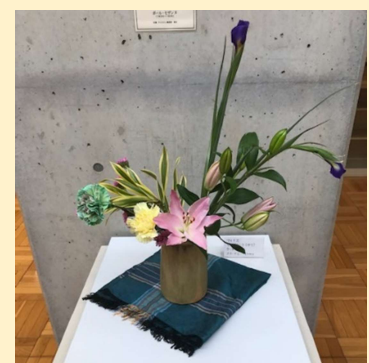
その日のうちに、「合唱がしたい」や「昼休みに合唱曲を聴きたい」という声があがりました。それは、昨年の3月に直前で合唱祭が中止となった経験がある、2、3年生からでした。

「コロナのせいで、またできない。」と欲しているのは、“何も生まれません”。“できること”だけにこだわっていても“前進はしません”。“どうすれば、何が、どのようにできるか”を考え、前を向いて歩むことが大切だと感じています。たとえ、結果的に「中止」となっても、そこまで頑張れた経験は、生徒の皆さんの心に残るものであり、皆さんの成長につながるものと考えます。

どこまで、どのように、できるかはわかりませんが、とにかく「前を向いて、歩みましょう」。そして、「心を燃やそう」。

また、昨年末に突然ではありますが、東京都教育委員会より「医療従事者の方々への感謝の気持ちを伝える取組」の依頼が来ました。急でしたので、「できる範囲で」との依頼でしたが、本校では全生徒で取り組むこととして、生徒のみなさんにメッセージを書きいただきました。どのメッセージも一人一人の思いが詰まったすばらしい内容でした。中面に各学年8通ですが、紹介をいたします。また、そのメッセージはすべて、東京都へ送付しています。皆さんの心の思いが、年の瀬に医療機関へ届けられています。これも、前を向いて歩むことだと感じています。

今回の花



アイリス、カーネーション、スターチス、ドラセラ、カサブランカ

医療従事者の方々への感謝の気持ち 1年生

毎日、大変な思いをいただく中、私たちのために働いてくださり本当にありがとうございます。一日でも早くコロナが収まることを願い、みなさんのことを考えながら、行動したいです。心から応援しています。

毎日、毎日増えていくコロナ感染者を支えてくれている医療関係者、本当にありがとうございます。僕達もコロナに感染しないように頑張るので、医師、看護師さんたちも体に気を付け頑張ってください。

私の将来の夢は、看護師です。なので、テレビや新聞などで「医療従事者の方々が頑張っている」と聞き、感染症対策をきちんとしようと思いました。

また、自分以外の誰かのために命をかけることができる、命を助けることができすぎてすごと思っています。

私も、自分以外の誰かのためにつくることができる看護師になりたいです。

大変だと思いますが、頑張ってください。

私の両親も医療従事者なので、子供である私も両親や医療従事者の方々が大変だということが伝わってきます。

様々な医療物資が不足で、供給が不安定ななか、新型コロナウイルスの感染が広がってしまって、過酷な状況下で最前線で働いていただき感謝しています。

いつも本当に大変な状況の中で、私たちの生活を守っていただきありがとうございます。医療関係者の皆様がいるからこそ、今の生活が成り立っていると思います。

私も、できるかぎりの感染予防(手洗いやうがいなど)をこれからも続けていきたいと思っています。本当に大変な状況ではあると思いますが、頑張ってください。

新型コロナに感染するという恐怖もあると思いますが、たたかってくださり、ありがとうございます。今、自分にできることはなるべく外出せず、コロナに感染するリスクをさけるということだと考えているので、たたかい続ける皆さんのことを考え、日々感謝しながら、私のがまんしたいと思っています。

土日なども休みなく、コロナウイルスとたたかってくださりありがとうございます。僕らは、みなさんのおかげで学校にいらしています。

どうか無理をせず、これからもがんばってください！

私が、テレビをつけると、そこには「新型コロナウイルス」に最前線で戦う医療従事者のみなさまがいました。私に出来ることは、マスク着用や手洗いやうがいなどの事しかありませんが一つ一つのことをせいっぱいしていきたいです。

日本の医療を支えていただき本当にありがとうございます。

医療従事者の方々への感謝の気持ち 2年生

大変な時期に毎日、働いてくれてありがとうございます。土日でも休みがないのに頑張ってくれてありがとうございます。医療従事者さんたちのためにも感染対策をしっかりしていこうと思いました。

いつ、コロナに感染するか分からないこの世の中で、日々頑張っている皆さんに、本当に感謝しています。皆さんのおかげで、たくさんの方が支えられています。皆さん、本当にありがとうございます！！

コロナウイルスから私たちを救っていただきありがとうございます。

感染対策をしっかりとして、

感染しないように努めたいです。

いつも、コロナウイルスと戦っていただきありがとうございます。現在、感染者数がとても増えていて、とても大変だと思いますが、頑張ってください！応援してます。

新型コロナウイルスで、医療従事者の方々は毎日大変な思いをしていると思います。

私達も不要不急の外出をさけたりして、感染者を増やさないようにします。これからも、体調に気をつけて頑張ってください。

最近、コロナウイルスの感染者が増えてきて、医療従事者の方たちがよりいっそう大変になってきていると聞き、これ以上、感染者を増やしてはいけないと思いました。そのため、一人でも減らせるよう、友達などに呼びかけようと思いました。これからも頑張ってください！！

医療従事者のみなさん、本当に本当にありがとうございます。

毎朝、コロナのことをニュースで見ている、特に病院の中のことを報じているのを見た時は改めて、すごいなと思いました。

私たちにできることは少ないと思いますが、これからも、手洗い・うがい・消毒をしっかり行って過ごしていきます。

昼夜を問わず働いてくださり、ありがとうございます。毎日働いてくださっていると思うと感謝しかないです。僕も新型コロナウイルスの感染予防を徹底します。

医療従事者の方々への感謝の気持ち 3年生



感染リスクと戦いながら、治療に当たってください本当に感謝しています。コロナにかからないように、しっかり対策をして生活していきます。

休日も季節も関係なく、防護服を着て、一番ウイルスに近い所で、コロナの最前線に立って、コロナ患者のちりょうにあたってくださってありがとうございます。コロナが1日でも早くおさまり、みなさんが少しでも休めるようになるよう、私も予防につとめていきます。

大変な世の中なのに、人々を救うためにがんばっている姿はとてもすばらしいと思います。

私も感染予防を引き続き心がけていきます。体調に気をつけて、がんばってください！

コロナウイルスの感染が広がって、身体だけでなく精神的にも疲れていると思います。先が見えず不安なこともあります。みなさんの前向きにがんばっている姿に勇気ももらっています。これからもがんばってください。

みなさんのおかげで今の私たちがいます。お体に気をつけて、これからも頑張ってください。応援しています。

毎日、とても大変なのに、自分のことよりも、患者さんのことを気にかけて、笑顔で接していて、本当にすごいなと思います。私も、自分にできる感染対策は全力でやろうと思います。

これからも、たくさんの人の笑顔のために頑張ってください。

自分がいつ感染してしまうかわからない中で、毎日、頑張っている姿に私も元気つけられました。

最近、感染者も増え、より大変だとは思いますが、これからも患者さんたちを支えて、頑張ってください！！これからも応援しています！！

たくさんの素敵なメッセージをありがとう！
みなさん一人一人の気持ちは、必ず医療従事者の方へ、
伝わります。

私の「心に残ったあの一言」

道徳の窓
NO30

「みんな違って みんないい」

主任教諭 平野 恵里

小学校1年生の2学期、端正な顔立ちのHという男の子が転校してきた。みんな友達になりたいくて、彼の周りを取り囲んで質問攻めにした。けれど彼は、一言も話さなかった。表情も石のように固かった。だから、取り巻きは少しずつ減っていき、次第に誰も彼に構わなくなった。



そんなある日事件は起こった。突然、Hが叫びだして床を転がりまわったのだ。みんなあっけにとられて、彼の様子をただ眺めていた。…そして、次の日から彼は学校に来なくなった。

しばらくして、みんなでHの家にお見舞いに出かけた。みんなウキウキしていた。「きっと今度こそ仲良くなれる。」そう信じていたのに、結局彼は一言も話さず、別室に隠れてしまった。でも、彼の両親はとっても喜んでくれた。「Hにもこんなにたくさん友達がいるのね。また、遊びに来てね。」と涙ぐんでいた。

それがHと会った最後の日になった。彼は転校してしまっただけだ。罪悪感だけが残った。でも、「一体どうすればよかったのだろう？」

そんな時、担任の先生が冒頭の言葉を教えてくれた。その後、私は特別支援教育の道に進んだ。今だったらわかるのに。あの時Hにどのように接したらよかったのか…。

年を重ねる毎に、この言葉の捉え方も変わってきた。とても奥の深い言葉だと思う。



進路のお話 3

今回は、出願に関することです。ただし、今年度は新型コロナウイルス感染症の対策として、昨年度と大きく違うところがあります。(来年度については、未定です。)

1 私立の入学願書は、どのようにするの？

今年度は、郵送の学校が多くありました。これは、必要な書類を各家庭から送付いたします。また、インターネットで出願する学校も多くなってきました。出願の方法は、各学校によって、違いますので、よく入試要項を確認することが必要です。

2 都立の入学願書は、どのようにするの？

昨年度までは、書類をそろえて、各生徒が出願する高校へ持参をしました。今年度は、中学校で送付する書類を一括して、中学校から指定された郵便局留めで送付となりました。また、今年は、都立立川高校で、インターネットによる出願も試行されました。(郵送でも可)

中学校で取りまとめることで、中学校への提出日が昨年度より少し早まりました。

都立高校の令和3年度入試の全日制一次・分割前期募集の応募状況は、2月9日(火)の夜に、東京都教育委員会のホームページに掲載され、翌日10日(水)の朝刊に掲載される予定です。

その状況を見て、1回に限り志願変更ができます。最終の応募状況は、2月15日(月)夜に、東京都教育委員会のホームページに掲載され、翌日16日(火)の朝刊に掲載される予定です。